

様式第3号（第12条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第5回吉川市水道運営委員会
開 催 日 時	令和8年2月3日（火） 午後1時57分から 午後2時37分まで
開 催 場 所	吉川市役所204会議室
出席委員（者）氏名	（市議会）戸田馨委員 （使用者）阿部照義委員、辻健人委員、富岡透委員、 中島眞由美委員、番場勇貴委員、平塚史子委員、山崎成一会長 （有識者）宇野二郎副会長、木暮昭彦委員
欠席委員（者）氏名	なし
（事務局） 担当課職員職氏名	吉川市長 中原恵人 都市建設部長 荒川泰弘 水道課長兼水道技術管理者 吉野達也 施設担当主査 本間廣勝、施設担当主査 松本謙一 庶務担当主査 山崎真由美、庶務担当 遠山美南海、野澤文彌
会議次第と会議の 公開又は非公開の 別	【次第】 1 開 会 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 議 事 (1) 令和8年度吉川市水道事業会計予算（案）について (2) その他 5 閉 会 【公開・非公開】 公開
非公開の理由 （会議を非公開に した場合）	
傍 聴 者 の 数	0名

会議資料の名称	令和８年度吉川市水道事業会計予算（案） ☐ 資料 令和８年度吉川市水道事業会計予算の概要について 吉川市水道運営委員会名簿 令和８年度吉川市水道運営委員会会議開催予定表
会議録の作成方法	☐ 録音機器を使用した全文記録 ☒ 録音機器を使用した要点記録 ☐ 要点記録
会議録確認指定者	辻健人委員、戸田馨委員
その他の必要事項	
審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）	
事務局	1 開会 会議は公開となることを報告する。
会長	2 会長あいさつ
市長	3 市長あいさつ
事務局	運営委員会定員１０名のうち１０名が出席し会議は成立、傍聴者がいないことを報告。 会議資料、次第、資料一覧、令和８年度会議予定表、委員名簿を確認。 議事進行を山崎会長に依頼。
会長	会議録について、録音機器を用いた要点記録とし、辻委員と戸田委員を署名委員に指名する。
事務局	4 議事 (1) 令和８年度吉川市水道事業会計予算（案）について ☐ 資料 令和８年度吉川市水道事業会計予算の概要についてに基づき説明。 【意見・質疑等】
富岡委員	有収水量は719万m ³ とあるが、有収率はどのくらいか。

事 務 局	93.9%を見込んでいる。
事 務 局	引き続き、資料 令和8年度吉川市水道事業会計予算の概要についてに基づき説明。 【意見・質疑等】
会 長	加入者分担金が結構増えているが、どのような要因か。
事 務 局	吉川美南駅東口周辺の開発が進んでおり、現在は、一般家庭よりも集合住宅が多く建っている状況である。また、来年度に高層マンションの建築が予定されており、そちらも見込んだため、前年度よりも増加している。 個数としては、前年度は150件だったが、令和8年度は20mmのメーターで410件を見込んでいる。
事 務 局	引き続き、資料 令和8年度吉川市水道事業会計予算の概要についてに基づき説明。 【意見・質疑等】
会 長	企業債償還金の銀行等資金について内容を教えてもらいたい。
事 務 局	これまで財務省及び地方公共団体金融機構から借入れを行っていたが、要望に対して全額を充てられないため、銀行からの借入れが令和7年度から発生したものである。
木 暮 委 員	配水管や石綿管工事で、4ヶ所1654m、3ヶ所370mとあるが、箇所数は契約の件数ではないのか。
事 務 局	4契約を合わせたものである。
木 暮 委 員	石綿管が17km残っていて、毎年1600m程度であれば大体10年ぐらいでなくなるという理解でよいか。
事 務 局	令和14年度に石綿管の布設替えを終了する計画で進めている。
宇野副会長	物価高や労務費単価の上昇が全国的に問題になっているが、今回の予算については、それをどのように反映しているのか。水道事業の場合、一方で水道料金に影響する問題ではあるが、地域経済等々を考えると、しっかりと変化をし

	つつ、事業量を確保し料金のあり方をしっかり考えていくという方向性が良いと考えるがどうか。
事 務 局	当初予算の編成に当たり、見積りを徴収できるものは、見積りを精査し、工事については歩掛りを基に積算しているが、人件費等の項目で増加しているものについては、率を加味し反映させている。
富 岡 委 員	無収水量が7%で、供給単価を掛けると約9000万円ぐらいになる。老朽化による石綿管等からの漏水もあり、漏水探知に係る経費と管を入れ替える経費を比べてどうかということもあると思うが、有収率が94%ぐらいでずっと続いていて、もう少し有収率を上げていくという考え方はないのか。
事 務 局	配水管布設替え工事は、延長は少ないが、漏水しやすい古いポリ管を少しずつ布設替えをしている。漏水に対する十分な効果があることは認識しているが、費用の面からも一遍に実施すること難しい状況である。 市としては、石綿管の破損による漏水の水量や近隣への被害等を考慮し、令和14年度までは石綿管の布設替えをメインに実施していく方針である。 また、漏水探知については、発見後に修繕の必要があり、少ない水量の漏水箇所が市内に多いだろうということは承知しているが、手をつけにくいのが実情である。
富 岡 委 員	有収率が93%から94%ぐらいで推移しているので、予算上はバランスが取れるとは思いますが、方針のとおり実施してもらいたい。 (2) その他について
事 務 局	吉川市水道ビジョン（経営戦略）の改定案について、パブリックコメントを実施したが、意見の提出はなし。後日、確定版を郵送することを報告。 【意見・質疑等】 特になし （議事を終了し、会長が議長の任を解かれる。） 5 閉会 以上で終了。

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和8年3月12日

署名委員 戸田 馨（自署） 署名委員 辻 健人（自署）